

兵庫区の神戸工業高校2年生、村上柚姫さん(16)が、東京で8月に開かれた「全国高校定時制通信制体育大会」の柔道女子63キロ級で優勝した。新型コロナウイルス禍で競技から離れたが、気持ちがあくすぶり、高校入学後に再開。男子部員と鍛錬を積んで初の栄冠に輝いた。

2 神戸工業高 年高

定時制通信制体育大会・女子63キロ級

村上さん 柔道で全国初V

村上さんは、アニメの「Y」ール部に所属し、柔道仲間「AWARA」に憧れて小学1年生で競技を始めた。辞めたのかと、ずっと後悔していた。神戸工業高へ重ねたが、6年生の時に新型コロナウイルスが流行。試合だけでなく練習もなく、柔道から離れた。昼間は地元の飲食店でアルバイトをしながら、夜は学校へ。授業終わりに週3



男子部員と練習を重ねて全国の頂点に立った村上柚姫さん
＝神戸工業高校

男子部員相手に日々鍛錬

目標は連覇「得意技磨きたい」

回、各1時間の練習に励む。村上さんは「身体的にはしんどいけど、柔道を辞めたくないから」と笑う。

柔道部員3人のうち、女子部員は村上さん1人。練習相手の男子部員とは体格差があるが、得意の背負い投げを決めるときもある。「強い相手と練習すること自分の技も強くなった」昨年、1年生で臨んだ全国舞台は準決勝で敗退し、3位に終わった。雪辱を期するため、敗れた相手の技を参考に組み手を見直し、積極性を磨いた。

迎えた今年の全国大会には、22人が出場。順調に進んだ決勝では開始直後、相手の内股に対し、右脚を引いてかわした。「普段の練習で内股をよく仕掛けられたので、タイミングが分かった」。そのまま相手を倒して押さえ込み、一本勝ちした。9月22日には、生徒会主催で祝賀会が開かれ、記念の横断幕が披露された。友人らの前で連覇を誓った村上さんは「得意技の背負い投げでのポイントがなかったので技を磨きたい」と目標を掲げた。

ベテランシェフが本格料理

中央区

旧暦の十五夜に行われる中国の伝統行事「中秋節」が4月6日、中央区の南京町で開かれる。南京町商店街振興組合の主催で、ベテランシェフが本格料理を振る舞う「月光厨房(ムーンライトキッチン)」が目玉。

中国獅子舞や太極拳などの伝統芸能も楽しめる。ムーンライトキッチンは

6日、南京町で中秋節



める高杉良和さん(73)がきんつばを洋風にアレンジしたオリジナル菓子などを個数限定で提供する。日本中国料理協会兵庫支部長の亀島新次さん(60)も淡路牛の料理を用意する。振興組合の30店舗でも、特別料理や限定商品を取りそろえる。連携する大手コンビニのローソンでは、近畿2府4県の店舗で「玉子炒飯と肉団子」や「回鍋肉丼」などの7品を販売する。振興組合の安達正二理事

アイヌ舞
伝統工芸
4日
アイヌ民族
舞踊などを紹
又文化フェス
4日、中央区
文化ホールで
公益財団法人
文化財団の主
博物館の篠
「DNAが教
成り立ち」と
るほか、アイ

12日告示、26日投開票
市選管「七つ道具」を点検

選ぶ

25 神一

神戸市長選
示、26日投開
市選挙管理委
日、候補者の
使用する「七
検した。
市選挙事務
頭演説で掲げ
運動員が着け
ピラ用の証紙
職員が枚数や
を細かく確認